

食糧生産基地として 努力を



普代村議会議長
中村 裕
(なかむら ひろし)

◆ 村内では、岩手北部地震被害も少なく済みました。マイマイガの大発生による樹木の被害、夜間の集団飛来、卵塊処理などで悩まされた年でもありました。

◆ 秋サケ漁も不振であり、アワビの価格も半値という中で

◆ 12月に教育委員会から、中長期的ビジョンとして、小中一貫校構想が発表されたところで、未来を担う子どもたちのために教育環境を整えることは村民一人ひとりの責任でもあります。議会としても村民各位のご意見の下で取り組ん

◆ 少子化の時代に入り、平成22年度小学校統合に取り組んでいる中、21年度は児童の避難場所など、安全面の確保に向けて施設改善が行われる予定です。

◆ 今年も、雇用問題は大きな課題と思われま

◆ 食の不安といわれる今、安心安全な食糧生産基地として、普代村の漁業、農業が脚光を浴びる絶好の機会であると思ひます。養殖事業への新たな取り組み、農用地の有効利用などで、漁業、農業の発展を願うものです。村民各位の、努力と気力と英智を結集しこの一年乗り越えていただきたいと思ひます。

◆ 本村においては、漁業者、農業者にとりまして、一段と厳しい経営が想定されます。食の不安といわれる今、安心安全な食糧生産基地として、普代村の漁業、農業が脚光を浴びる絶好の機会であると思ひます。養殖事業への新たな取り組み、農用地の有効利用などで、漁業、農業の発展を願うものです。村民各位の、努力と気力と英智を結集しこの一年乗り越えていただきたいと思ひます。

◆ 謹んで新春の喜びを申し上げます。

◆ 果たすよう努力致します。

◆ 昨年(2008年)は、内外ともに激変する一年でありました。そして、今年(2009年)は、百年に一度ともいわれる経済不況が予測されております。村民の皆さまのなご一層の努力によってこの一年を頑張っていたいただきたいと思ひます。

◆ 最後になりましたが、村民の皆さまの限りなきご発展とご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。

希望の古里づくりに 飛躍を誓う



普代村長
深渡 宏
(ふかわたり ひろし)

◆ 平成21年の新春を迎え、村民の皆さまに心からお喜び申し上げます。

◆ また、国民の食糧を外国に求めている日本企業では、食糧の偽装問題や、毒物の混入などいろいろな事件が発生し、「食の安心安全」が脅かされました。

◆ 国内の一次産業の農林漁業も不振続きにあえいでいる中で、今こそ自然豊かな本村の特色を生かし、安心して食べられる食料の安定生産に取り



水産業の巻き返しが期待されます(太田名部市場)

◆ 組まなければならぬと感じています。恵まれた自然を生かし食糧基地としての役割を果たすべくと考えます。

◆ 厳しい財政事情の中でしたが、昨年は村民が一丸となつて「ふだいまつり」や「ふだいまるごと海産まつり」などさまざまな事業を成功させてきました。

◆ 多様化する行政需要に対応するため、さまざまな事業に取り組みながら、同時に財政の健全化に取り組んでまいりました。村民の皆さまのご理解とご協力により、その成果も毎年度達成されていきます。

◆ 前年度からはじめた「ふるさと応援基金」にも村内外か

◆ 普代村の発展のために、村民の皆さまと行政が一体となった「協働の精神」で着実に躍進する年とすることを誓い合いたいと思ひます。

◆ 最後になりましたが、村民の皆さまの限りなきご発展とご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。